

事例番号:340267

原因分析報告書要約版

産科医療補償制度
原因分析委員会第七部会

1. 事例の概要

1) 妊産婦等に関する情報

初産婦

2) 今回の妊娠経過

妊娠 26 週 4 日 羊水過少あり

妊娠 26 週 5 日 - 切迫早産と前期破水のため当該分娩機関入院

胎児心拍数陣痛図で変動一過性徐脈を頻繁に認める

3) 分娩のための入院時の状況

管理入院中

4) 分娩経過

妊娠 28 週 0 日

17:20 - 胎児心拍数陣痛図で基線細変動減少、反復する高度遷延一過性徐脈あり

19:00 前期破水と胎児機能不全のため帝王切開により児娩出

5) 新生児期の経過

(1) 在胎週数:28 週 0 日

(2) 出生時体重:900g 台

(3) 臍帯動脈血ガス分析:実施なし

(4) Apgar スコア:生後 1 分 1 点、生後 5 分 1 点

(5) 新生児蘇生:人工呼吸(バッグ・マスク、チューブ・バッグ)、気管挿管

(6) 診断等:

出生当日 超低出生体重児、気胸、早産児、新生児遷延性肺血症

(7) 頭部画像所見:

生後 8 時間 頭部超音波断層法で右Ⅱ度、左Ⅲ度の脳室周囲高エコー域あり
生後 81 日 頭部 MRI で後角優位の脳室拡大を認め、脳室周囲白質軟化症の
所見

6) 診療体制等に関する情報

(1) 施設区分:病院

(2) 関わった医療スタッフの数

医師:産科医 3 名、小児科医 5 名、麻酔科医 2 名

看護スタッフ:助産師 5 名

2. 脳性麻痺発症の原因

- (1) 脳性麻痺発症の原因は、出生前、および出生直後に生じた児の脳の虚血(血流量の減少)により脳室周囲白質軟化症(PVL)を発症したことである。
- (2) 児の脳の虚血(血流量の減少)の原因は出生前に生じた臍帯圧迫による臍帯血流障害、および出生直後に生じた呼吸循環不全の両方の可能性がある。
- (3) 早産期の児の脳血管の特徴および大脳白質の脆弱性が PVL 発症の背景因子であると考えられる。

3. 臨床経過に関する医学的評価(2020 年 4 月改定の表現を使用)

1) 妊娠経過

- (1) A 紹介元分娩機関における妊娠中の外来管理(性器出血に対して膣鏡診、超音波断層法実施)、および妊娠 19 週 3 日胎盤位置が低位、臍帯付着部位が辺縁から卵膜付着のため B 紹介元分娩機関へ紹介したことは一般的である。
- (2) B 紹介元分娩機関における妊娠中の外来管理(性器出血に対して膣鏡診、超音波断層法実施)、および妊娠 26 週 4 日羊水過少のため C 紹介元分娩機関へ紹介したことは一般的である。
- (3) C 紹介元分娩機関における妊娠 26 週 5 日受診時の対応(内診および帯下が水溶性であったことから羊水診断薬を実施したこと)、および胎児発育不全、羊水過少、前期破水、低置胎盤もしくは前置胎盤のため当該分娩機関へ紹介したことは、いずれも一般的である。
- (4) 当該分娩機関における妊娠 26 週 5 日受診後の対応(切迫早産、前期破水に

伴う羊水過少、前置血管の疑い、臍帯卵膜付着の疑いで入院としたこと)、および入院後の管理(羊水診断薬による破水の確認、腔鏡診、超音波断層法実施、血液検査、腔分泌培養検査、抗菌薬投与、ベタメタゾンリン酸エステルナトリウム注射液投与、連日ノンストレス、帝王切開について説明と同意)は、いずれも一般的である。また、入院後も羊水過少が続いていたが、妊産婦および家族に説明のうえ、胎児の成熟を待つため妊娠継続としたことは選択肢のひとつである。

2) 分娩経過

- (1) 妊娠 28 週 0 日に胎児機能不全、前期破水と診断し、帝王切開を決定したことは一般的である。
- (2) 帝王切開決定から 45 分後に児を娩出したことは一般的である。
- (3) 胎盤病理組織学検査を実施したことは適確である。

3) 新生児経過

新生児蘇生[バッグ・マスクによる人工呼吸、気管挿管、チューブ・バッグによる人工呼吸(「原因分析に係る質問事項および回答書」による)]は一般的である。

4. 今後の産科医療の質の向上のために検討すべき事項

1) 当該分娩機関における診療行為について検討すべき事項

なし。

2) 当該分娩機関における設備や診療体制について検討すべき事項

事例検討を行うことが望まれる。

【解説】 児が重度の新生児仮死で出生した場合や重篤な結果がもたらされた場合は、その原因検索や今後の改善策等について院内で事例検討を行うことが重要である。

3) わが国における産科医療について検討すべき事項

(1) 学会・職能団体に対して

早産児の PVL 発症の病態生理、予防に関して、更なる研究の推進が望まれる。

(2) 国・地方自治体に対して

なし。